

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース		
科目名	ペットフード概論					必修・選択必修の別		必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	26 時間
	2年	前期	26	時間	後期	-	時間		
担当講師	滝口 準一								
	実務経験	有	大手ペットフード会社で40年以上勤務。年間4000件以上のペットに関する相談の対応。現在もペットフードに関する協会で活躍中。						
授業概要	今日ペットに適正な発育、発達、健康維持、増進に不可欠な栄養素を供給するペットフード。適切に日常の食物としてのペットフードが重要な存在であることを認識し、犬・猫の体の構造、生理、栄養に関する基礎知識、関連法規、製造、保管方法等、ペットフードに関する知識を習得する。						授業形式	講義	
到達目標	ペットフードに関する基礎知識を深め、その正しい知識を将来ペットフード販売に携わる際、販売店頭や商談、お客様相談に活かす土台を構築することが出来る。								
教科書・教材・服装等	ペットフード販売士テキスト・復習配布プリント・フードアドバイザープリント								
授業計画時間数	授業内容								
1~3	・ 1.はじめに(学習の展開解説) 2.犬・猫の体の構造と生理: P8~21 1.外形 2.外皮 3.運動器系 4.消化器系について理解する								
4~5	・ 2.犬・猫の体の構造と生理: P22~27 5.呼吸器系 6.内分泌系 7.循環器系 8.生殖器系 9.泌尿器系 10.神経系 11.感覚器系について理解する ・ 3 犬・猫の栄養に関する基礎知識 P28~36 1.犬・猫の食の歴史 2.食事管理 3.栄養素について理解 4.エネルギーとは 5.ライフステージを理解・・1)								
6~7	5.ライフステージを理解・・2) P27~46 第 3 週-2 ・ 4 ペットフードの関連法規 P48~54 1. ペットフード安全法について 2.ペットフードの 表示に関して								
8~10	3.医薬品医療機器等法について P54、55 4.その他の関連法規にはどのようなものがあるか理解 P56 ・ 5 ペットフードについて:P57~62 1.ペットフードとは 2.ペットフードの種類 3.ペットフードの選び方・使い分け・与え方について知る ・ 6 ペットフードの製造と保管についてP63~681.製造に関する実施基準の理解 2.ドライフードの製造と保管方法								
11~12	・ 6 ペットフードの製造と保管についてP69~83 3.ウェットフードの製造と保管方法 4.中間水分製品の製造と保管方法の理解 5.安全なペットフード製造のための衛生管理とは 6.ペットフード安全法に基づく立入検査とは 7.リスク管理について 8.表示基準の理解								
13~14	・ 7 店頭や動物病院でのQ&Aについて P84~98 1.フードの与え方 2.期限表示 3.フードの保管 4.フードの切り替え 5.ペットフードの分類 6.ペットフードの選び方 7.シニア用ペットフードについて 8.病気や体調管理について 9.サプリメントについて 10.原料や品質について 11.誤飲等のトラブルその他相談の応酬話法を実施								
15~16	・ 8 ペット飼養の基本マナー: P98~114 1.ペットの迎え入れ方 2.アニマル・ウェルフェア 3.災害時の対応 4.しつけと行動学 5.予防接種 6.去勢・避妊 7.室内外生活、複数のペット飼育 8.留守番 9.旅行 10.健康維持と病気の早期発見 11.病気に関する知識								
17~18	・ 9 エキゾチックアニマル・鳥・観賞魚: P116~140 1.ウサギ 2.フェレット について知る								
19~20	・ 1 0 ペット飼養の効果・効用の認識P141~151								
21~22	レジメP01~12:■犬・猫の体の構造と生理 ■犬・猫の体の栄養に関する基礎知識 レジメP13~24:■犬・猫の体の栄養に関する基礎知識 ■ペットフードの関連法規								

23～24	レジメP25～36:■ ペットフードの関連法規 ■ ペットフードについて/製造・保管 レジメP37～44:■ ペットフードについて/製造・保管 ■ エキゾチックアニマル			
25	・ 総復習			
26	・ ペットフード販売士認定試験 7/15 ・ 6時限目13:50～14:50			
成績評価方法	・ 出席率	定期試験	○	筆記試験
	・ 定期試験や小テスト			実技試験
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない
成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている		
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 普通		
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		